

# ひびき灘

校訓

「明るく 清く たくましく」

平成30年5月28日発行



よい出会いとなるよう  
当日の準備をしました

## エンジョイ ハローアメリカ

25日(金)アーカンソー大学からスタッフ教授と10名の学生さん(男性2名、女性8名)が、今年も日比小学校を訪れました。日比小の保護者との偶然の出会いからスタートしたハローアメリカが今年でなんと20回を数えます。慣れるにしたがって内容も年々グレードアップ。今年もたくさんの保護者や地域の方にお越しいただいて、大変盛り上がった会となりました。



子どもたちは、朝から「わくわく」「ぞわぞわ」興奮気味。9時過ぎの学校到着の際には運動場に出ていた5年生が「ハロー」と手を振ってお出迎え。24日にも読み語りボランティアで学校を訪れていたこともあって、恥ずかしがったり戸惑ったりする様子もありません。笑顔いっぱいの子どもたちに、いい1日になりそうな予感がしました。

体育館で行った対面式では、まずは一行の玉野滞在のお世話をしてくださっている3名の方とハローアメリカのために集まっていた10名の通訳ボランティアスタッフを紹介。お世話になった経験が「今度は自分が」という気持ちを育てます。多くの人の支えがあって成り立っている行事であることに気づくことも大事な勉強です。

スタッフ紹介に続いて、スタッフ教授一行を歓迎の拍手で迎え入れました。「一緒に遊んだり、話したりして、楽しい時間を過ごしましょう。」と校長先生からのあいさつのもと、スタッフ教授から今年のハローアメリカに対する期待の言葉と共に20回記念のトロフィーが児童代表の人に手渡されました。友好の証であるこのトロフィー、今後は、運営委員さんと話をしながら学校行事の際に利用し活躍させたいと考えています。しばらくは児童玄関横に飾っておきます。学校にお立ち寄りの際にぜひご覧ください。



その後、互いの紹介と歌の交換で交流しました。歓迎の気持ちを学生さんに届けようと、大きな声であいさつや歌を歌ってはりきる子どもたち。一生懸命な様子がかわいかったです。学生さんからも、子どもたちを楽しませよう、そして自分も会を楽しもうとする気持ちが伝わってきました。最後に、学生さんから児童1人1人記念のボールペンをいただきました。きっと、この日の出会いの記憶と共に大切な宝物になるのでしょうか。

さて、保護者の方にも見ていただいた交流授業では、日本の文化を伝え楽しんでもらうことをテーマに、生活科やひびき（総合的な学習の時間）を使って練習してきた成果を十分に発揮しました。午前の低学年（1～3年）の授業では、

1年生は、ジャンボかるたに色バスケット。学生さんにも楽しんでもらえるようにと、札を裏返したり学生さん同士で競ってもらったりと工夫しました。

2年生は、おちゃらかほいなど昔の手遊びとうらじゃ音頭に取り組みました。動きが多く結構ハードな内容でしたが、手をつなぎスキップをとって一緒に楽しみました。

3年生は、班ごとにゲームコーナーを作って学生さんを招待。準備した説明文で伝わらない部分は身振り手振りでカバー。3年生になると一味違います。



かるたゲットでハイタッチ



ずいずい ずっころばし  
ごまみそ ずい



〇×クイズに挑戦

後半の高学年の授業は、習字体験からスタート。漢字を書くのが初めてという学生さんに、筆の持ち方や書き順など1から教えます。言葉で説明できない部分はお手本を示して説明。学生さんも先生役の子どもの一挙手一投足を真剣に見て、まわっていました。お気に入りの一文字を書き込んだ扇子を持って、満足そうな笑顔が印象的でした。



書き順にも  
注意して挑戦

4年生は、習字のあとに英語劇を披露。今年は「浦島太郎」に挑戦しました。難しい英文も丸暗記して披露。聞いて覚えているので発音もOK。内容も十分伝わったようで、学生さんは楽しそうに子どもたちの演技を見ていました。

5年生は、羽子板、ゴム跳び、けんだまなど昔遊びを一緒に楽しみました。積極的な5年生。片言の単語も交えながら説明していました。途中から見学の保護者方も交えての交流会となり、わきあいあい楽しい活動になりました。

6年生は、5年の時から練習を積んできた盆手前でお茶を振る舞いました。最初は足も集中力ももたず「大丈夫？」と思われた6年生。見違えるような立ち振る舞いで、「これが日本文化」というところを見せることができました。



Urasima-Tarô



むかし遊びに挑戦



おいしく飲んでいただけでしたっけ

ハローアメリカを終えたあと、スタッフ教授は「今年のハローアメリカは雰囲気といい、内容といい素晴らしかった。よく考えられたプログラムで、学生は楽しく活動できていた。」と話されたそうです。歓迎遠足から3週間ほどでこれだけのことをやってのける日比小のパワー。個々のがんばりはもちろん、これまでの経験とクラスのチームワーク、そして伝統の力があいまっての結果です。これからの行事も楽しみです。

楽しい時間は、あっという間に過ぎ去ります。全日程を終えお見送りでは、「時間よとまれ」とばかりに名残惜しい表情が子どもたちに見られました。学生さんたちも、ちょっぴりさみしそう。そこにいた誰もが素敵な時間を過ごしたことがお別れの様子から見てとれました。

日本人には、周りを気にして見知らぬ人の前では自分を出せない人が多いです。特に、日本語の通じない外国人が相手だと、年齢が上がるにつれ、その傾向は一層強くなります。「どうしゃべっていいかわからない」「通じなかったらどうしよう」「恥ずかしい」などによるものですが、「経験」のなさがそうした感覚を生みます。だからこそ、「ハローアメリカ」のように幼い時期に外国の方と繰り返しコミュニケーションをもつことは貴重な体験なのです。「小学校の中でハローアメリカを一番経験し、よく知っているのは6年生だ」と誰かが言っていました。確かに6年生の活動には自然体の部分が多く、照れも少



かけ声をかけてお別れしました

なかつたです。また、活動内容も分かりやすく、特に、「習字」を教えるのがとても上手でした。「経験」が「自信」を生むよい例だと思います。日比小では英語に限らず、体験活動を授業の中に積極的に今後も取り入れていこうと考えています。そのためには、人手が必要です。ここ最近の通信で何度も書いていますが、保護者の皆様にも学校支援ボランティアに積極的に参加していただければと思います。学校支援ボランティアは「できる人が できるときに できることを」がモットーですから、あれもこれもお願いするというものではありません。極端な話「年1回これだけに参加」でもOKです。ただ、作業中の事故補償のためにボランティア登録をお願いしています。登録により保険適用になりますので、安心してご参加ください。

さて、ハローアメリカは来年も実施が決定しております。また、多くの方のお力をお借りすることになります。今回参観してみて、来年「通訳ボランティアしてみたい」とか「ホストファミリーを引き受けてみたい」と思われた方、また、「こうした人がいるんだけど」というご紹介でもかまいません。教頭までご連絡ください。

### ボランティア募集

今年度のプールの授業で、児童の様子を見守っていただく保護者の方を募集します。たくさんの方で児童の様子を見守り、「より安全に」をテーマに事故防止に取り組みます。「お子様の授業のみ」というわけにはいきませんが、ご協力いただける方は、教頭までご連絡ください。プール開きが迫っている関係で6/1(金)までをお願いします。



今年は読み語りも  
していただきました



昼休みに遊んでもらうのも  
子どもたちの楽しみのひとつ



授業後の一コマ



20回を記念して  
いろいろもみじをいただきました  
お昼休みにみんなでご植樹しました